

社団法人

# 香川県作業療法士会ニコープ

発行：(社)香川県作業療法士会広報部  
事務局：〒769-0205 香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁62-1  
四国医療専門学校 作業療法学科内  
(社)香川県作業療法士会事務局

URL:<http://www18.ocn.ne.jp/~k-ot/> E-mail:[kagawa-ot@star.ocn.ne.jp](mailto:kagawa-ot@star.ocn.ne.jp)

## チーム医療

副会長 松本 勉

これからの医療のあり方で、患者さん中心の医療の実現に向けて必要なこととして「チーム医療」があります。リハビリテーション医療では、患者さんをいかに早くスムーズに日常の生活に戻れるようにするか、そのためには医師だけでなく看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士やソーシャルワーカーなど様々な専門職がひとつのチームで患者さんに関わっていくことが大切です。私も学生時代にリハビリテーションはチームでアプローチすると学びましたが、働きはじめた頃は訓練だけでなく、様々な業務や相談などに一人で対応することがありました。しかし、現在は様々な専門職が働いている施設が多くなっていて、また、地域で関わる専門職もいて、病院から地域まで患者さんを中心とした「チーム医療」が行えるようになってきていると思います。

「チーム医療」で大切なのは、複数の専門職種間の協働とそれぞれの専門職が役割分担された各職種の業務をしっかりと実施することと考えられています。専門職種間の協働を行うためにはコミュニケーションが重要で、コミュニケーションをスムーズに行うには他の専門職が使用している専門用語を理解できることが大切です。私たちも患者さんのことを伝える時には、専門用語をもちいた方が伝えやすいことがあります。しかし、他の専門職がその意味をきちんと理解できていないと情報はうまく伝わりません。このことは私たちにも言えることで、専門用語だけでなく疾患、検査データ、リスクや介護保険などの知識もあると正確で細かい意見交換ができるようになると思います。また、日頃から他の専門職とあいさつをしたり、患者さんに関する以外のことでも話をするようにしておいた方が良いです。しかし、私たちの業務が忙しかったり、看護師やソーシャルワーカーからも忙しくしていたり、業務の時間帯が違っていたりとなかなか会話する機会がないのが現状です。でも、少しずつでも話しておくことで、気楽にコミュニケーションがとれるようになります。このようにしていることで複数の専門職種間のコミュニケーションがスムーズとなり、患者さんの情報が適時的確に共有できて「チーム医療」が有効に機能すると思います。チームの中で作業療法士としての役割をきちんと行って、コミュニケーションをとりながら、患者さんが満足する医療や質の高い医療の提供をする「チーム医療」を行っていきましょう。

## 第14回香川県作業療法学会 開催報告

会 期：平成25年1月20日(日) 会 場：綾歌総合文化会館アイレックス 小ホール  
テーマ：「生きるを支える作業療法」



香川大学医学部附属病院 仁木 隆之

今回、第14回香川県作業療法学会に参加しました。市民公開講座では目良幸子先生から終末期や緩和ケアにおけるOTの役割についてご公演を頂き、また11題の演題発表があり私もその中の1題として発表し多くの方にご指導、ご指摘を頂きました。香川県作業療法学会は年々演題数が減少しており、OTの将来に不安を感じている方が多いという話を聞きます。診療点数の削減など問題は多いと思いますが、今自分に出来ることは、治療成績を高めていくよう努力し患者さんの主観的満足度も含めたADL向上を図ることであり、さらにはそれを学会などで発表することで今後のOTの明るい将来に貢献していくことだと考えます。香川県作業療法学会が今後更に盛り上がっていき、他県からも参加者が増えるような魅力的な学会になっていく様、支援出来ればと思います。

かがわ総合リハビリテーションセンター 松浦 幹

今回、『生きるを支える作業療法』というテーマのもと、発表者として参加させていただきました。一般演題では、多数の演者による発表を聞き、「生きる」を支える手段はごく身近に存在し、意味や目的も多種多様であることに改めて気付きました。その人にとっての作業は何を意味するのか？を患者様の生活背景に沿って考え、今後も直接的作業活動や間接的支援を通して、患者様の元気に繋がるよう努めていきたいと感じました。

## 介護老人保健施設鮎の里 藤川 歩美

平成25年1月20日、綾川総合文化会館で行われた、第14回香川県作業療法士学会に参加させていただきました。

今回は「生きる」を支える作業療法、というタイトルのもと、東名古屋病院附属リハビリテーション学院の目良幸子先生による一般公開講座「終末期・緩和ケアにおける作業療法の役割」も開催されました。私は、終末期を迎えた患者様と関わる時、自分の力不足を実感します。そのため、具体的なエピソードを交えながら講座をしていただき、目良先生がどのように患者様と関わってきたのか、作業療法士として何ができるのかを知ることができ、大変勉強になりました。その人らしく生活するための支援として、自分に何ができるのか、しっかり考えていきたいと思いました。



### 広告掲載についてのご説明

#### ● 広告のサイズと料金(1掲載につき)

1 ページ	たて24cm×よこ16cm	40,000円
1/2 ページ	たて12cm×よこ16cm	20,000円
1/4 ページ	たて12cm×よこ8cm	10,000円

(社)香川県作業療法士会賛助会員はそれぞれ半額となります。

#### ● 広告の原版について

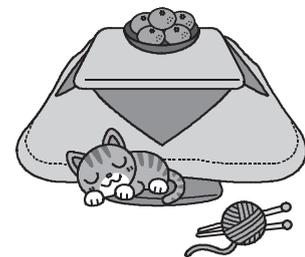
鮮明なものに限ります。写真・マークなども掲載できます。

いただいた原版はそのまま印刷されますので、サイズに収まるよう作成し、期日までにお送りください。(原版1部、コピー1部)

\*ただし印刷の都合上若干、形などが変わることがあります。

掲載希望の方は、麻田総合病院 作業療法士 木村勇介までご連絡ください。

TEL: 0877-23-5555 FAX: 0877-23-6200





# 先輩の声

**No. 1** 医療法人 圭良会 永生病院  
牧野真理子  
(15年目)



私は、平成10年にOTの資格を取得し、15年が立とうとしている。6年前に出産してから、仕事は復帰したものの、研修会や県士会活動は、全く参加できていない。それまでは、県内で研修会があるときには、できる限り参加し、1年に1回ぐらいは県外の研修会にも参加するようにしていた。そして、県士会の部会も参加させてもらいながら、学会の係りなどいろいろと経験させてもらった。

就職した当初、OTの治療をはじめ、診療報酬については、分からなくても、職場に先輩がおり、相談できたので、困ることもなかった。しかし、その翌年には、先輩は退職され、相談したくても身近に相談できる人がいなくなった。さらにその翌年には、介護保険制度も始まり、介護報酬に対しても理解して、仕事をする必要性があった。

その時、本当にありがたかったのは、県士会などでの集まりの場があることだった。その場で、同じような悩みを持つOTがいて、ほっとしたり、他の病院や施設の情報を教えてもらったり、先輩のOTから解決の糸口を頂いた。

今は、院内のOTスタッフも増え、院内で、相談し合える環境にあるものの、やはり狭い世界での話だけになってしまう。子育てがあり、県士会活動に参加できる環境が今はないが、可能な時期が来れば、県士会の活動に参加して、たくさんのOTと話をし、いろいろなOT感を吸収したい。

悩みの解決は、県士会活動などへの参加、また、特に女性の方は、結婚する前の若いうちに、積極的に研修会にも参加されることをおすすめする。

**No. 2** 四国医療専門学校教務部

山川 公彦

(11年目)



四国医療専門学校の山川と申します。この度広報部より、後輩OTへアドバイスを……と依頼を受け執筆することになりました。

養成校を卒業後、岡山県の病院へ入職することになりました。初年度から研修や勉強会へ多く顔を出し自己研鑽に努めるようにしていましたが、プレッシャーは常に有り「経験のあるセラピストが関わればもっと良くなるんだろうな」と思うこともありました。でもそんなことも言ってもらえませんよね……。私が心がけていたことは、他職種や患者様との関わりを重要視し、コミュニケーションを多くとっていたような気がします。時には業務が終了して帰りがけに、患者様の病室へお伺いして世間話をすることもありました。

皆さんOTしてて忙しくないですか？ 私は社会人経験者で他の業界を覗いていますが、患者様の為に治療を行い、休みの日には研修や学会などへ行って勉強する、そんな職業ってあまり見ないような気がします。最近、先輩OTからアドバイスを受けましたが、「時間は作るものですよ」と悩んでいた私に声を掛けてくれました。その言葉を聞いて、自分の行動を振り返ってみようと考えています。現在は養成校に勤務し、昔と対象者は異なっていますが、少しでも学生の声に耳を傾ける時間を作ろうと思っています。これからもOTであることに誇りを持てるよう精進していきます！

老健等も併設されておりましたが、セラピストも少なく若手の集団にて、十分な新人教育は受けないまま、患者様へ関わっていたと思います。

アプローチを考える時、理論や文献等で組み立てることは大切ですが、「どうしたらいいのだろうか？」と答えが出てこないこともありました。その時、患者様やご家族、他職種の方が答えを導き出してくれたことは多かったと今振り返れば思います。偉いと思ったことはありませんが、OTであることに誇りを持てるようになってきました。



## 第14回 公開講座報告

### ～地元で暮らすということ～

実行委員長 前田 悠志

日 時：平成24年11月16日(金)10:00～11:00

場 所：宇多津町保健センター4階ホール

参加者：宇多津町在住の方27名（平均年齢82歳）

テーマ：介護予防教室「介護予防 ～簡単にできる体操とゲーム～」

講 師：(社)香川県作業療法士会 事務局長 松本嘉次郎氏

地域密着型の事業を今年度は展開し、地域包括支援センターの活動の一環でその一コマを県士会が担当させていただきました。講師は県士会事務局長の松本嘉次郎OTで、平日ながら快諾していただきました。スタッフは地域包括支援センターやボランティア約10名、県士会から会長はじめ講師含め4名で運営しました。

9月の多度津町での活動に比べ、平均年齢が高かったのですがみなさんお元気で熱心に話を聞いてくださったり、お声をかけていただいたりと雰囲気よく講演が進みました。たまたま宇多津中学校の職場体験授業でセンターへ見学に来られていた生徒3名にも協力してもらい、参加者からも笑顔が多くみられました。事後アンケートでは9割近い方が「楽しかった」と回答をいただきました。また、毎日の中で楽しみがある方や日課がある方も9割近く、「おしゃべり」や「料理」がそれぞれ多い回答でした。

今年度はパイロット的に多度津町、宇多津町で地域の方を対象とした講座を開催しました。盛会に終わったのですが課題も見えてきました。平日開催のため講師や委員の確保が簡単ではないということです。県士会では来年度以降も公益性のある事業を展開していく予定ですので、各会員におかれましてもご協力よろしく申し上げます。



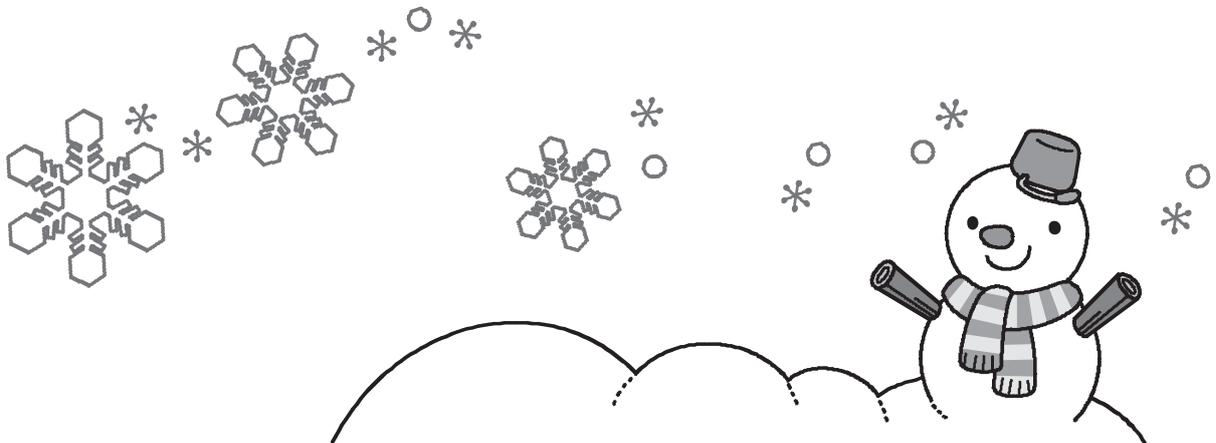
## ～リレーエッセイ 29～

高松市民病院 近藤 和美

高松市民病院に就職して今年で15年を迎えました。急性期病院で15年……本当に色々な事がありました。新人でOT開設、1人職場、県士会活動、OT増員。また、個人的には結婚、出産。思い返してみると、「作業療法って何だろう？私は何者なんだろうか？」という葛藤と常に向き合ってきました。作業療法士として15年目を迎えた今でもそれは変わりません。

皆さんも「作業療法士と理学療法士の違いって何ですか？」「手先が器用なんですよね？」という質問に、一瞬言葉に詰まった事はありませんか？そんな時「いいえ。私は不器用ですよ。」と笑顔で答えます。「患者様に係わる人間は多いほうが良い。足りない部分を補い合わせるし、決してマイナスにはならない」と言われた事があります。作業療法士として何をすべきかという狭い枠にとらわれず、患者様や家族にとって何が必要かを考え行動するようになりました。

3月で2歳になる息子。イヤイヤとなぜなぜ攻撃の毎日ですが、母としてどうあるべきかではなく、彼にとって今何が大切なのかを一緒に見つけ、人として私ももっと成長していきたいと思います。



# 福利部の施設見学



高松協同病院 戸田 洋子

2月1日(金)、昨年度アンケートを取らせて頂いた中で一番希望の多かった、施設見学を高松協同病院にて実施しました。見学の時間を30分ずつ3回と、合間で病院紹介をする形で行いました。

雨の降る中でしたが、会員11名、部員3名、協同病院からのお手伝い2名で無事終了しました。急性期や維持期、協同病院と同じ回復期など、いろいろな時期に関わっている先生方に参加していただきました。いくつか具体的な質問もしていただき、ありがとうございました。



**第16回世界作業療法士連盟大会**  
**第48回日本作業療法学会**

16th International Congress of the World Federation of Occupational Therapists  
in collaboration with the 48th Japanese Occupational Therapy Congress and Expo

2014年6月18日(水)～21日(土)  
パシフィコ横浜

Exploring the Wisdom of OT from Asia to the World  
**アジアから世界へ：作業療法士の知を求めて**

参加登録期間 **2013年1月～2014年5月**

主催 世界作業療法士連盟 (WFOT) / 社団法人日本作業療法士協会 (JAOT)

## 香川県作業療法士会 平成24年度 会費納入がお済みでない方へのお願い

社団法人香川県作業療法士会では、各部・委員会で様々な活動に取り組んでいます。各事業・活動は、作業療法の啓発や会員の学術・技能向上などを目的に実施されるもので、主に会員の年会費によってまかなわれております。今年度の会費納入がまだお済みで無い方は、下記の通りに会費の納入をお願いいたします。

### 1. 納入金額

8,000円（平成24年度会費）

都道府県作業療法士会連絡協議会 四国支部会費含む

### 2. 振り込み先

（※7月以降はコンビニネットでの支払いはできません。下記の口座へ振り込みをお願いいたします。）

百十四銀行 県庁支店

口座番号：普通 0993345

加入者名：社団法人 香川県作業療法士会 会長 植野 英一

※ATMからの振込みの場合は氏名及び施設名を必ず入力してください。

※通帳記載文字数は濁点も数えて12文字までですので、必ず「氏名」→「施設名」での記入をお願いします。空欄不要です。

※百十四銀行のキャッシュカードで百十四銀行のATMを使用した場合の振込みに限り手数料無料です。

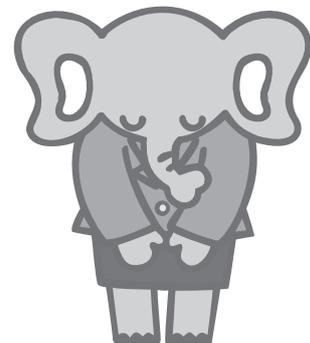
### 3. 問合せ先

財務部長 徳永 謙一

穴吹リハビリテーションカレッジ

TEL：087-815-3300、FAX：087-815-2100

Mail：kenichi-tokunaga@anabuki.ac.jp



## 香川県作業療法士会常任理事会・部局長会抄録

(社)香川県作業療法士会 部局長会 〈第5回〉  
 日 時：平成24年12月10日(月)19:00~21:00  
 場 所：四国医療専門学校  
 出席者：植野、松本(勉)、前田、池知、小松、木村、  
 戸田、七條(代理出席)、徳永、松本(嘉)、  
 田埜、山川  
 欠席者：石井、香川

### 【報告】

#### 1. 理事及び各部の報告

教育部：協会の教育部の会議があり報告された。  
 ポイント制や認定作業療法士についての変更についての話し合いが行われた。詳細は次回の会議にて報告。認定 OT は香川は少なく、基礎講習は10番位に受講している。

5年間で50ポイント。臨床実習指導者講習 臨床実習施設認定制度が立ち上がる。(予定)

認定 OT については今後試験が導入される。来年は無料。再来年は受講料(2000円) 専門 OT「うつ病の OT」を新設。こちらにも試験が導入。パイロット的に8士会にモデル事業として、会員の受講記録をデータ管理で行っていた。来年度から各士会で行う。

学術部：県学会時に学術誌を配布予定。マニュアルを作成済み。

啓発部：1月に部員の来年度の意思確認予定。

保険部：12月1日に県内の施設充てに指導実施のアンケートを送付。医療のみ：48施設  
 介護のみ：47施設 両方の施設：19。  
 114施設

広報部(別紙参照)：広告依頼が2件あり。次回より新原稿案計画中でありこの会議で確認を行う。新人対象に先輩の助言的な内容を考えている。

財 務：419名入金。再度納入のお願いをしていく。各部で事業毎の報告書、出納帳の提出をお願いされた。

渉外部：別紙参照

事業部：報告なし

事務局：現在進行している法人移行についての説明がされた。  
 会長より、新体制についての説明がされ

た。内容は、臨時理事会の議事録を参照。各部に対する部員などの補充についてをお願いをされた。

会員の学術的な研鑽、啓発を推進していく。作業療法士の職域拡大などを目標にしていきたい。

#### 2. その他

県学会：演題募集11演題。20日に封入発送作業。

1月19日(土)に懇親会(19:30~予定)

来年から、講師料の復興特別所得税の源泉徴収についての説明がされた。税率を2.1%で計算して講師料を支払うようにする。講師料は規定金額を手取りとして渡すようにする。承認された。来年1月1日より適応される。

県学会の当日、WFOT 学会の説明を行う。

公開講座：11月16日に、宇多津保健センターにて介護予防教室を行った。好評であった。来年度は部署が変更する予定であり、継続して行う予定。

都道府県連絡協議会：会議が行われた後に部局長に報告予定。徳島四国作業療法学会9月開催。

医療推進協議会：12月7日(金)決議案について決議が行われた。

(社)香川県作業療法士会 常任理事会 〈第10回〉

日 時：平成24年12月15日(月)18:00~20:20

場 所：四国医療専門学校

出席者：植野英一、前田悠志、松本 勉、  
 松本嘉次郎

### 【検討議題】

#### 1. 常任理事会

会員カードについて

一般社団法人を入力。会員番号ではなく、施設名と氏名に変更。会員証は裏面で記載。3年間使用。

#### 2. 全国の解剖学会の依頼があれば検討する。

#### 3. 一般社団法人移行に向けての協議

12月13日、法務局に訪問。法人移行に関する助言をもらった。まずは、総会を急ぐ必要がある。定款および役員に関する決議を行う必要がある。移行認可について、定款、電子申請(公益目的財産額)

# Information

## 〈広報部より〉

○他県士会ニュースが届いております。

北海道士会 No.100~102,104	滋賀県士会 第60号	長崎県士会 No.92
秋田県士会 Vol.29, No.3	京都府士会 No.132~134	宮崎県士会 作業療法士会ニュース
山形県士会 No.96, 97, 99	大阪府士会 No.152~154, 156	Vol.60
宮城県士会 No.121, 123	兵庫県士会 No.5~7	沖縄県士会 2012年1月, 4月号
群馬県士会 第107, 108, 110号	奈良県士会 Vol.77, 78	香川県医師会週報 第1461~1471号
東京都士会 No.142~145, 147	島根県士会 No.1, 2, Vol.28	四国支部会 No.33
神奈川県士会 No.153~155, 157	岡山県士会 No.90, 91	社団法人日本介護福祉士会
石川県士会 No.82, 84	広島県士会 180~182号	Vol.108~110
長野県士会 No.159, 160	山口県士会 No.193~198, 201, 202	心の翼友の会 2012年春夏号
山梨県士会 No.79	高知県士会 115, 116号	
愛知県士会 No.133	福岡県士会 第107, 108号	

## 事務局連絡

- 入 会** 鳥取 祥子 (西香川病院)  
北岡 翔 (西山脳神経外科病院)  
鷹取 宏治 (西山脳神経外科病院)
- 異 動** 森塚 莉紗 (自宅) → (三宅医学研究所附属三宅リハビリテーション病院)  
石橋 常子 (宝壽苑) → (坂出市役所)
- 退 会** 中坂 美保 (西山脳神経外科病院) → (徳島県 三加茂田中病院)



医療法人社団 三愛会

# 三船病院

院長 三船和史  
精神科・心療内科・内科・歯科

丸亀市柞原町366  
TEL(0877)23-2341代 FAX(0877)23-2344  
<http://www.mifune-hp.jp/>

診療時間 午前9:00～12:00 午後1:30～5:00  
休診日 木曜・土曜午後、日曜、祝日

## 心療内科・精神科・神経内科・内科

医療法人

# しおかぜ病院

心の健康相談  
院長 前田 謙二 副院長 白井 豊之 副院長 大原 秀夫

診療時間 月～金 午前 9:00～12:00  
午後 1:30～ 5:00  
土 午前 9:00～12:00  
入院設備 有り 駐車場 有り

多度津町堀江4-3-19 ☎0877-33-2545

リハビリテーション機器・医療機器  
看護・医療用品  
介護用品レンタル&販売

## (有)ゴトー商事高松

高松市東植田町812番地3  
TEL (087) 840-4030  
FAX (087) 840-4020

## 医療は『手当て』

鍼灸マッサージ学科  
鍼灸学科 柔道整復学科  
理学療法学科 作業療法学科  
看護学科  
スポーツ医療学科

学校法人 大蔵学園 -ESTABLISHED 1956-

### 四国医療専門学校

〒769-0205 香川県宇多津町浜五番丁62-1  
TEL(0877)41-2323 URL <http://www.459.ac.jp/>

## ANABUKI REHABILITATION COLLEGE

理学療法学科 3年制  
作業療法学科 3年制

抜群の国家試験合格率

理学療法士 国家試験合格率 98.2%  
作業療法士 国家試験合格率 99.1%

穴吹リハの特長BEST3

1. 3年制だから就職が早い!
2. 勤労制だから学校生活は安心!
3. 卒業後も研修会でしっかりサポート!

穴吹リハビリテーションカレッジでは  
毎月 オープンキャンパス 開催中! 10:00START

●学校・学科の詳細説明 ●募集要項説明 ●施設・設備見学会  
●学費と学費サポート制度の説明 ●就職実績&就職サポート

穴吹リハビリテーションカレッジ 高松校舎・専攻科は3コース

TEL: 087-838-3380 FAX: 087-838-3381 E-mail: happy@anabuki.ac.jp

## 医療法人社団和風会 橋本病院

- 回復期リハビリテーション病棟 89床
- 認知症治療病棟 60床

◎診療時間/8:30～12:30、13:30～17:30  
◎診療日/月曜～土曜(木曜は午前のみ)

香川県三豊市山本町財田西 902 番地 1 TEL:0875-63-3311  
<http://www.wafukai-hashimoto.jp/>  
E-mail:wafukai@gaes.ocn.ne.jp

身障者指定店

## 株式会社 日協堂医療器

365日年中受付しております

医療機器 レンタル・販売  
福祉用具

- 補聴器
- リハビリ機器
- ストーマ器具
- 住宅改修 ● 還元水

香川県観音寺市柞田町甲 43-1 (西部看護学校前)

☎0120-254774 TEL0875-57-5757(代)  
FAX0875-57-5770